

USB 2.0 DVD±R/RWドライブユニット LDR-CA880U2ハードウェアマニュアル

目次

ごあいさつ	2
製品の特徴	3
接続の際の注意	5
メディアの取り扱いについて	6
メディアのセットと取り出し	10
本製品を取り外す手順	12
使用環境について	14
トラブルシューティング	15
デバイス上の登録名について	20
ハードウェア仕様	21
オプション品について	23



ご注意

当社DOS/V対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーのDOS/Vパソコンで一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。

そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があります。ご理解いただけますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご通知おきください。

(*1)OADGは「PCオープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。

(OADG URL <http://www.oadg.or.jp/>)

ごあいさつ

この度は弊社 DVD ± R/RW ユニットをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。本書は DVD ± R/RW ユニットに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についての説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社 DVD ± R/RW ユニットによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROM/DVD-ROM ソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようご注意ください。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

製品の特徴

本製品はDVD+R、DVD-Rメディアへの8倍速書き込みに対応したUSB 2.0外付けDVD±R/RWドライブユニットです。DVD+R/+RW、DVD-R/RW、CD-R/RWの書き込み・再生に対応しています。本製品の主な特徴は以下の通りです。

DVD+R、DVD-Rメディアへの8倍速書き込み、DVD+RW、DVD-RWメディアへの4倍速書き換えに対応しています。また、DVD-RAMメディアの読み込みにも対応しています。

DVD+Rメディアへの8倍速書き込みには、下記メーカーの高速記録対応メディアが必要です。

ソニー、太陽誘電(That's)、日立マクセル、三菱化学メディア、リコー

DVD-Rメディアへの8倍速書き込みには、下記メーカーの高速記録対応メディアが必要です。

ソニー、太陽誘電(That's)、TDK、日立マクセル、三菱化学メディア

DVD+R、DVD-Rメディアへの8倍速書き込み時は、メディアの内周から外周の間を複数のゾーンに分け、6倍速から8倍速へと段階的に書き込み速度をあげる「Zone CLV方式」を採用しています。

PC電源連動機能を搭載しているので、パソコンの電源のON/OFFに連動して本製品の電源のON/OFFを自動的に行います。また、パソコンが省電力モードやスタンバイモードになった場合も、自動的に電源がOFFになり、復帰時にONとなります。

転送モード識別表示ランプが搭載されています。本製品前面の「転送モード識別表示ランプ」の点灯色によってUSB 2.0接続(緑色点灯)か、USB 1.1接続(オレンジ色点灯)かを確認できます。

市販DVDビデオタイトル(CSS対応のもの)の再生時には、自動的に回転速度を2倍速～5倍速にして騒音の発生を抑える「静音機能」を搭載しています。

メディアの反りや厚みのばらつきによる書き込み精度の低下を解消し、高精度の書き込みを実現する「液晶チルト」機構を搭載しています。

記録回路をピックアップ上に搭載することで高速書き込み時の記録品質を大幅に向上する「スマートレーザードライブ技術」や高速回転時の機械振動を大幅に低減する「Ultra DRA(Dynamic Resonance Absorber)技術」等を採用しています。

データCD-ROMアクセス時には、最大40倍速のCD-ROMドライブとして使用することができます。また、CD-Rメディアには最大24倍速で書き込み、CD-RWメディアには最大24倍速で書き換えが行えます。

追記書き込みに対応しているので、DVD+R、DVD-R、CD-Rメディアの記録可能容量を最大限利用することができます。



ご注意

- ・ ご使用のパソコンの使用によっては電源連動機能がうまく働かない場合があります。その場合は背面の電源スイッチにて電源のON/OFFを切り替えてください。
- ・ 市販されているDVDビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- ・ 市販のDVDプレーヤーの中には、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアに対応していないものもあります。本製品で作成したDVDビデオが再生可能かどうかは、ご使用のDVDプレーヤーのマニュアルをご参照ください。
- ・ 本製品で作成するDVDビデオのリージョンコードは「ALL」となります。また、本製品はフェーズ2仕様のドライブであるため、本製品で再生できるDVDビデオは、リージョンコード「2」を含むもの、もしくは「ALL」のものに限定されます。
- ・ 本製品は「メディアレスキュー機能」には対応していません。
- ・ DVDメディアにはラベル、シール等を貼付しないでください。メディアが偏重心を起こし、正常に読み取れなくなる場合があります。
- ・ 本製品はセルフパワー（ACアダプタからの電源供給）で動作します。バスパワー（USBポートからの電源供給）では動作しません。

接続の際の注意

本製品をパソコンに接続する際は以下の点にご注意ください。

- ・パソコン本体への接続はUSB 2.0ポートへ接続することをお勧めします。USB 1.1ポートでの使用も可能ですが、USB 1.1接続時は、「DVDメディアへの書き込み／読み込み」が標準速未満「CDメディアへの書き込み／読み込み」が最大8倍速に制限されます。また、DVDメディアへのビデオの書き込み／読み込みは未対応となります。
- ・本製品はUSBハブ経由では接続しないでください。USBハブを経由して接続すると正常に動作しません。
- ・本製品はバスパワーで使用することはできません。必ずACアダプタのコンセントを接続してください。
- ・複数のUSB機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続しないでください。トラブルの原因となります。
- ・本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0対応ケーブルを使用してください。USB 1.1用ケーブルで接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・USB 1.1ポートへ接続し使用する場合も、なるべく本製品付属のものか、USB 2.0対応ケーブルをご使用ください。

メディアの取り扱いについて

正しい取り扱いをしないと、データの書き込みが正常に行われず、すでに記録されているデータが損なわれる、ドライブが故障する、等の障害が発生する場合があります。

メディアの取り扱いについては、本ハードウェアマニュアルやご使用のメディアの取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。

メディアの記録面に、指紋や汚れ、ほこり、傷などがつくと、記録済みのデータが読めなくなったり、記録できなくなる場合があります。

本製品の使用、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

次のような場所には置かないでください。

- ゴミやほこりの多い場所。
- 温度、湿度の高い場所、直射日光が当たる場所。
- 温度差の激しい場所。(結露が生じます)

取扱い上のお願い

メディアをケースから取り出すときは、中心部を押さえて取り出してください。ケースへ収めるときはメディアのラベル印刷面を上から押さえて入れてください。

メディアは指でメディア中央の部分の穴の部分と外側の部分をはさむようにして持ってください。

メディアの記録面には触らないでください。メディアは印刷されていない方が記録面となります。

メディアの表面はゴミやほこり、指紋などで汚したり傷つけたりしないでください。

また、落としたり曲げたり、紙を貼ったりしないでください。(書き込み速度が低下したり、記録したデータが読めなくなる原因となります。)

メディアの印刷面になるタイトル欄に文字などを書込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンを使用してください。ボールペン、鉛筆などの先の固いものは、使用しないでください。

メディアが汚れた場合は、市販の専用クリーナーでクリーニングをしてください。ベンジン、シンナーや静電気防止剤入りのクリーナー等、指定以外のもは使用しないでください。キズや汚れからメディアを保護するために、未使用時は短時間であっても必ず保護ケースに収めてください。

メディアを落としたり、重ねたり、また、メディアに物を乗せたり、衝撃を与えたりしないでください。メディアに無理な力を加えると、データの信頼性を保てなくなります。

メディアのドライブへのセット方法は「メディアのセットと取り出し」をご参照ください。

メディアの取り扱いについて (続き)

DVD-RAM メディアについて

本製品はDVD-RAM メディアの読み込みに対応しております。DVD-RAM メディアをご使用の際は、あらかじめ以下の点をご確認ください。

DVD-RAM ディスクの種類

DVD-RAMは、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。本製品ではDVD-RAMメディアの読み込みのみに対応しています。

DVD-RAMメディアには以下のタイプがあります。

- TYPE1** : カートリッジからメディアの取り出しはできません。(本製品では使用できません)
- TYPE2** : 片面のメディアで、カートリッジからメディアの取り出しができます。
(カートリッジから取り出した状態で本製品で使用可能です。)
- TYPE4** : 両面のメディアで、カートリッジからメディアの取り出しができます。
(カートリッジから取り出した状態で本製品で使用可能です。)

カートリッジなしタイプのDVD-RAMディスクも市販されています。

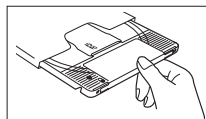
TYPE2、TYPE4 DVD-RAM メディアの取り扱い

次のような所には置かない

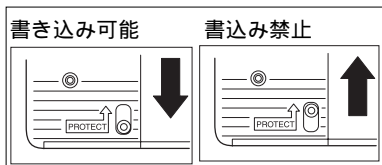
- ゴミやほこりの多い場所。
- 温度、湿度の高いところ、直射日光のあたる所。
- 温度差の激しい所

取扱い上のお願ひ

- メディア表面に触れない。
- 落としたり、曲げたり、重いものを乗せない。
- はがしたラベルを再度貼らない。
- 使用しないときはカートリッジに収めケースに入れて保管する。(右図)
- 定期的にバックアップ(データの複製)を行う。
- 大切なデータを保護するときはカートリッジ収納時に「書き込み禁止」にしておく(右図)
- ただし、このようにしている場合もカートリッジから取り出した際に書き込みを制限できるものではありません。



☒

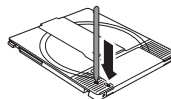


☒

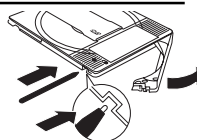
メディアの取り扱いについて（続き）

TYPE2 カートリッジからメディアを取り出す場合

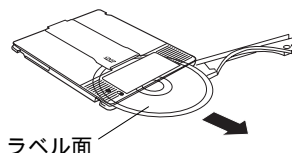
- 1** カートリッジのロックピンを、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って取り除きます。



- 2** カートリッジ左手前側面にある開閉部のへこみを先の細いもので押さえ、開閉ふたを開けます。



- 3** 表面を汚したり、傷つけないよう、メディアを水平に取り出します。



メディアを収納するときは

カートリッジのデザイン面とメディアのレーベル面を同じ向きにしてメディアをカートリッジに挿入し、開閉フタを閉じる位置まで戻します。

開閉フタを閉じた後ライトプロテクト（書き込み禁止・許可）の設定に注意してください。

取り扱い上のお願い

開閉フタを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。

メディアを取り出した後のカートリッジにDVD-RAM以外のメディアを入れて使用しないでください。

メディアの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水（油）滴等がつかないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。

レーベル面への文字の書き込みは柔らかい油性のフェルトペンを使用し、ボールペン、鉛筆などの先の固い筆記具は使用しないでください。

メディアにラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤などを使用しないでください。

メディアが汚れた場合は市販の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ペンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。

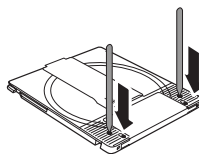
取り出したメディアは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

メディアを落下させたり、曲げたりしないでください。

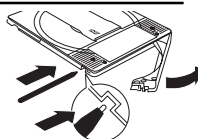
メディアの取り扱いについて (続き)

TYPE4 カートリッジからメディアを取り出す場合

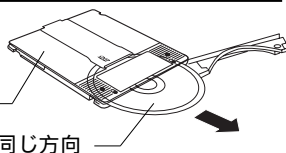
- 1 カートリッジのロックピン(2ヶ所)を、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って取り除きます。



- 2 カートリッジ左手前側面にある開閉部のへこみを先の細いもので押さえ、開閉ふたを開けます。



- 3 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、メディアを水平に取り出します。



1. カートリッジ A 面と
2. SIDE A 面が同じ方向

メディアを収納するときは

カートリッジのA面とメディアのSIDE Aを同じ向きにしてメディアをカートリッジに挿入し、開閉フタを閉じる位置まで戻します。

開閉フタを閉じた後ライトプロテクト(書き込み禁止・許可)の設定に注意してください。

取扱い上のお願い

開閉フタを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。

メディアを取り出した後のカートリッジにDVD-RAM以外のメディアを入れて使用しないでください。

メディアの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水(油)滴等がつかないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。

メディアにラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤などを使用しないでください。

メディアが汚れた場合は市販の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ペンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。

取り出したメディアは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

メディアを落下させたり、曲げたりしないでください。

その他のご注意

- 市販されているDVDビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- 著作権保護機能(CSS、CPPM、CRPM等)やコピー防止機能(COPY CONTROL CD等)が付加されているメディアは複製できません。
- パケットライトソフトウェア「B's CLIP」でDVD+RWメディア、DVD-RWメディアに書き込まれたデータは、それぞれのメディアへの書き込みに対応した製品以外のドライブでは読み出すことができません。これはDVD+RWメディアへの書き込みには「Random Access Write方式」が、DVD-RWには「Restricted Overwriting方式」が使用されているためです。

メディアのセットと取り出し

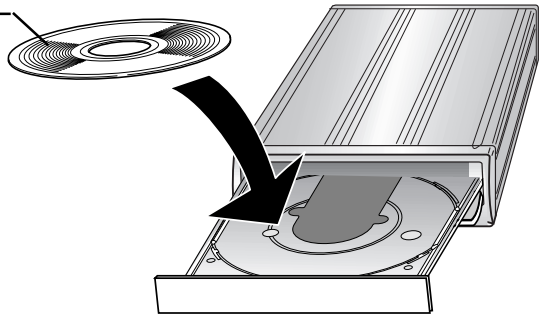
メディアのセット方法

メディアをセットするときは、本製品の電源がONになっている状態でイジェクトボタンを押してください。トレイが排出されますので、メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。

トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されメディアがセットされます。

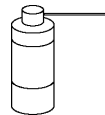
メディアを取り出す際も、同様の手順でトレイを排出するか、マイコンピュータ上から本製品のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「取り出し」を実行してください。

タイトル面を上にしします。



ご注意

- ・本製品でカートリッジ付き DVD-RAMメディアをご使用になる場合は、カートリッジから取り出して直接メディアを本製品にセットしてください。TYPE1のDVD-RAMメディアはカートリッジからメディアの取り出しはできませんので、本製品では使用できません。
- ・メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・DVDメディアにはラベルを貼付しないでください。メディアが偏重心を起こし、正常に読み取れなくなる場合があります。
- ・メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナーでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。
- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。



ダストクリーナー

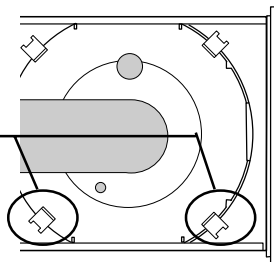


縦置きで設置した場合のご注意

本製品を縦置きで設置した場合は、メディアをセットする際にトレイ下部の2カ所のツメでメディアを支えるようにしてください。

縦方向で設置した場合、8cmディスクは全て使用できません。ご注意ください。

ツメ



ご注意

Windows環境では、セットしたメディア内のファイルが開いている状態ではトレイを排出することができません。

本製品を取り外す手順

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

- ・書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- ・本製品や併用しているUSB機器のアクセス中に、取り外してはいけません。

Windows XP、Me、2000をご使用の場合は、上記の点を確認の上、以下の手順でアンプラグ操作を行ってから、本製品の取り外しを行ってください。

Windows 98 Second Editionの場合は、アンプラグ操作を行なう必要はありません。上記の点をご確認後、本製品の取り外しを行ってください。

本製品にセットされたメディアからアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。(ここで表示される項目の内容は使用OSによって異なります。)



表示されるメッセージ

Windows XP の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します。」

Windows Me の場合

「USB CD-ROM - ドライブ (E:) の停止」

Windows 2000 の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します」

Point

ポイント

いずれの場合も「E:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

Windows Me の例



OK ボタンをクリック

Point

ポイント

- ・このウィンドウに表示されるメッセージも使用 OS によって異なります。
 - ・Windows XP の場合は、「ハードウェアの取り外し」のフキダシが出て、自動的に消えるので、特に操作をする必要はありません。
-

USB ケーブル、AC アダプタを取り外してください。

使用環境について

本製品を使用する場合に必要なシステム環境の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

パソコン本体

本製品は各社の DOS/V パソコン、および NEC PC98-NX シリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

USB ポートを搭載していること。

(DVD ビデオの作成・再生には接続先のポートが USB 2.0 に対応していること)

以下の CPU を搭載していること。

・DVD ビデオを作成する場合 Pentium III 700MHz 以上の CPU

(PowerProducer でダイレクトライティングを行う場合は、Pentium 4 2GHz 以上の CPU を搭載していること)

・ビデオを再生する場合 Pentium II 350MHz 以上の CPU

・PC データの書き込み / バックアップを行う場合 Pentium III 450MHz 以上の CPU

以下のメモリを搭載していること

・DVD ビデオを作成する場合 128MB 以上のメモリ

・ビデオを再生する場合 64MB 以上のメモリ

・PC データの書き込み / バックアップを行う場合 64MB 以上のメモリ

ハードディスクに 10GB 以上の空き容量があること (20GB 以上を推奨)。

CD-R, CD-RW への書き込みを行う場合は 800MB 以上

できるだけ高速な CPU / 大容量メモリ / 大容量 HD ドライブを搭載した環境での使用を推奨します。

対応 OS

本製品は以下の OS で使用することができます。全て日本語版に限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

Windows XP HomeEdition/Professional

Windows Me (*1)

Windows 98 SecondEdition (*1 *2)

Windows 2000 Professional

*1 DVD Copy Platinum はご使用になれません。

*2 Second Edition でない Windows 98 は対象外となります。



ご注意

- ・本製品は日本電気株式会社 PC-9800 シリーズでは使用できません。
- ・最新の情報につきましては、弊社ホームページをご参照ください。

トラブルシューティング

目次

本製品がまったく認識されない。.....	16
本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。.....	16
セットしたメディアが認識されない。.....	16
サスペンドモードから復帰できない。.....	16
メディアの書き込み時にエラーが多発する。.....	16
Windows Me でシステムがシャットダウンしなくなる。.....	17
特定の DVD-ROM / CD-ROM をアクセスできない。.....	18
DVD-RAM に書き込みができない。.....	18
パソコン上で DVD ビデオが再生できない。.....	18
本製品で作成した DVD ビデオが市販の DVD プレーヤーで再生できない。.....	18
ブランクの DVD+R , DVD-R , DVD+RW , DVD-RW メディアをセットすると、 マイコンピュータやエクスプローラ上で Audio CD として認識される。.....	18
その他：ホームページについて	19

本製品がまったく認識されない。

ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。

電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。

USB 2.0 インターフェイスボードのドライバは正しくインストールされていますか？ また、使用 OS のバージョンに問題はありますか？

本製品を USB ハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに直接接続して試してみてください。

「デバイスマネージャ」を起動して、「ハードディスクコントローラ」に「！」マークなどがついていないかどうかを確認してください。「デバイスマネージャ」を起動するには、Windows Me、98 の場合、「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows XP、2000 の場合は、「マイコンピュータ」右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？ 本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続してください。

ライティング・ソフトウェアは本製品付属のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

セットしたメディアが認識されない。

裏返しなどの異常な状態でセットされていませんか？

そのメディアは本製品でサポートしているものかどうかを確認してください。本製品で使用可能なメディアについては「スイスイセットアップガイド」裏面をご参照ください。

サスペンドモードから復帰できない。

本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能は OFF にしてご使用ください。

メディアの書き込み時にエラーが多発する。

適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「使用環境について」をご参照ください。

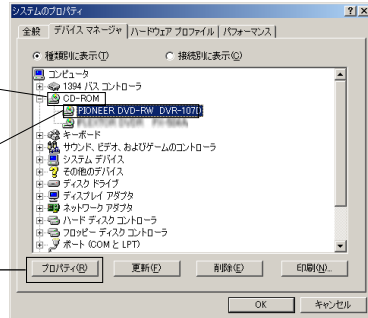
Windows Me でシステムがシャットダウンしなくなる。

以下の手順で本製品の CD-ROM 自動挿入機能を OFF に設定してください。

「コントロールパネル」から「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されたら、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

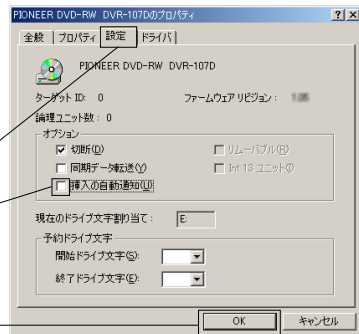
「デバイスマネージャ」のウィンドウが表示されます。

1. CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。
2. 「PIONEER DVD-RW DVR-107D」をクリックして選択状態にして、
3. 「プロパティ」ボタンをクリックします。



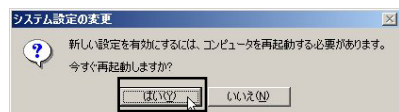
本製品（PIONEER DVD-RW DVR-107D）のプロパティウィンドウが表示されます。

1. 「設定」タブをクリックして「設定」ウィンドウを表示させます。
2. 「挿入の自動通知」のチェックボックスのチェックマークを外して、
3. 「OK」ボタンをクリックします。



再び「デバイスマネージャ」ウィンドウに戻りますので、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。「はい」をクリックしてシステムを再起動してください。



以上で設定は終了です。「はい」をクリック

特定の DVD-ROM / CD-ROM をアクセスできない。

そのメディアは Macintosh 用の CD-ROM (HFS フォーマット) ではありませんか？
Windows 環境では Macintosh 用の CD-ROM はアクセスできません。
そのメディアは「2」以外のリージョンコードを持つ DVD ビデオではありませんか？
そのメディアは著作権者によって日本国内で再生することを禁止されていますので、
本製品で再生できません。

DVD-RAM に書き込みができない。

本製品は DVD-RAM メディアの書き込みには対応しておりません。読み込み用途でのみ
ご使用ください。

パソコン上で DVD ビデオが再生できない。

PowerDVD は正しくインストールされていますか？
リージョンコード「2」または「ALL」以外の DVD ビデオを再生しようとしていま
せんか？ これは日本以外の国を対象とした DVD ビデオですので、本製品では再生でき
ません。
リージョンコードの書き換えを行っていませんか？

本製品で作成した DVD ビデオが市販の DVD プレーヤーで再 生できない。

市販の DVD プレーヤーの中には、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW の各メディ
アに対応していないものもあります。ご使用の DVD プレーヤー - のカタログ・取扱説明
書などをご確認ください。

ブランクの DVD+R、DVD-R、DVD+RW、DVD-RW メディア をセットすると、マイコンピュータやエクスプローラ上で Audio CD として認識される。

B's CLiP がインストールされていない場合、OS がブランクの DVD メディアを正常
に認識できず、「Audio CD」として認識してしまいます。
本製品付属の「SoftwarePack」CD-ROM から B's CLiP をインストールすることによっ
て、「Audio CD」として誤認識されることはなくなります。

その他：ホームページについて

弊社および添付ソフトウェアの各社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合もありますのでご利用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

株式会社ビー・エイチ・エー

ホームページアドレス：<http://www.bha.co.jp/>

サイバーリンク株式会社

ホームページアドレス：<http://www.cli.co.jp/>

インタービデオジャパン

ホームページアドレス：<http://www.intervideo.co.jp/>

デバイス上の登録名について

本製品がパソコン側から正常に認識されると Windows のデバイスマネージャに以下の項目が追加されます。

OS	項目	登録されるデバイス名
Windows XP Windows 2000	DVD/ CD-ROM ドライブ	PIONEER DVD-RW DVR-107D USB Device
	USB (Universal Serial Bus) コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス
Windows Me	CD-ROM	PIONEER DVD-RW DVR-107D
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス
	記憶装置	USB CD-ROM
Windows 98 SE	CD-ROM	PIONEER DVD-RW DVR-107D
	ハードディスク コントローラ	Logitech USB Mass-Storage Class Miniport Driver
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	Logitech USB Mass-Storage Class WDM Driver

上記のデバイスが登録されていない場合、本製品は認識されていません。いったんパソコンの電源を切り再度電源を入れて本製品を接続しなおしてみてください。

Windows 98 Second Edition をご使用の場合は、電源を切る前に「? その他のデバイス」の下に「? LDR USB Device」という項目があるかどうかを確認してください。ある場合には、電源を切る前にその項目を削除して、再起動後に「SoftwarePack」CD-ROMをセットし、再度USBドライバをインストールしてください。

「デバイスマネージャ」の起動方法

Windows Me , 98 の場合、「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウで「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows XP、2000 の場合は、「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

ハードウェア仕様

機種名		LDR - CA880U2
ローディング方式		トレイ方式
バッファメモリ		2MB
バッファアンダーラン機能		有り
インターフェース		USB 2.0 High-Speed
コネクタ形状		USB シリーズ B
ドライブメーカー		PIONEER
書き込み 速度 *1 *2	DVD+ R	8 倍速 / 6 倍速 / 4 倍速 / 2.4 倍速
	DVD+ RW	4 倍速 / 2.4 倍速
	DVD- R	8 倍速 / 6 倍速 / 4 倍速 / 2 倍速 / 標準速
	DVD- RW	4 倍速 / 2 倍速 / 標準速
	CD- R	24 倍速 / 16 倍速 / 8 倍速 / 4 倍速
	CD- RW	24 倍速 / 16 倍速 / 10 倍速 / 4 倍速
読み込み 速度 *1	DVD- ROM (1 層)	最大 12 倍速
	DVD- ROM (2 層)	最大 8 倍速
	DVD ビデオ (CSS 有り) *3	2 ~ 5 倍速 (CAV)
	DVD- RAM *4	2倍速
	DVD+ R、DVD+ RW	最大 8 倍速
	DVD- R、DVD- RW (高速記録対応メディア)	最大 8 倍速
	DVD- R、DVD- RW (高速記録非対応メディア)	最大 2 倍速
	CD- ROM、CD- R	最大 40 倍速
	CD- RW	最大 32 倍速
記録方式	DVD+ R	Sequential recording 方式
		Multi-session recording方式
	DVD+ RW	Random Recording 方式
	DVD- R	Disc at once 方式
		Incremental recording 方式
		Multi Border 方式
	DVD- RW	Disc at once 方式
Restricted Overwriting 方式		
Incremental recording 方式		
CD- R CD- RW	Disc at once 方式 / Track at once 方式	
	Session at once 方式 / Packet write 方式	
記憶容量	DVD+ R、DVD+ RW DVD- R、DVD- RW	片面ディスクで 4.7 GB 以下
	CD- R CD- RW	80分ディスクで 700 MB 以下 70分ディスクで 650 MB 以下

平均アクセスタイム		DVD - ROM : 140 ms	
		CD - ROM : 130 ms	
最大データ転送速度 (I/F) *5	USB 2.0	480 Mbps	
	USB 1.0	12 Mbps	
メディアとの最大 データ転送速度 *5	DVD - ROM	最大 16200 KB / s	
	DVD+ R DVD + RW DVD- R DVD- RW	最大 10800 KB / s	
	DVD - RAM	2770 KB / s	
	CD - ROM / CD-R	最大 6000KB / s	
	CD - RW	最大 4800 KB / s	
DVD - ROM 関係	フェーズ	フェーズ 2	
	リージョンコード	2	
環境条件 *6	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 90 %
入力電圧		AC 100V ± 10 % 50/ 60 Hz	
消費電力 (定格)		16.5 W	
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		158 × 50 × 252 mm *7	
質量		1.8 kg *8	
設置方向		水平 / 垂直	

- *1 DVDメディアは1385KB/sを標準速とし、CDメディアは150KB/sを標準速とします。8cmは水平時のみ使用可能となります。
- また、DVD-RAM以外のDVDメディアはUSB 1.1 (Full-speed) 接続では使用できません。記載されている速度は全てUSB 2.0 (High-Speed) での使用時のものです。CDメディアをUSB 1.1接続で使用する場合、書き込み・読み込みともに8倍速未満に制限されます。
- *2 設定速度に対応したメディアをご使用ください。
- *3 CSSのないDVDビデオは最大12倍速で読み込みを行います。
- *4 カートリッジに入ったDVD-RAMメディアは使用できません。カートリッジから取り出して使用してください。
- *5 理論値
- *6 ただし、結露なきこと
- *7 横置き時、突起部を除く
- *8 本体のみ

オプション品について

弊社ではインターフェースボードやケーブルなどを別売品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitec-direct.jp>

USB 2.0 インターフェースボード、インターフェースカード

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は、以下のインターフェースボード（PCI バス用インターフェースボードもしくは CardBus 対応インターフェースカード）をご使用ください。

PCI バス用 USB 2.0 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA- USB2NH	PCI	インターフェースボード単体 Windows Mac OS X 10.2.8 以降対応
LHA- USB2/M	PCI	インターフェースボード単体 Windows、Mac OS X 10.2 以降対応

CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM- CBUSB2H	CardBus	インターフェースカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応
LPM- CBUSB2HA	CardBus	インターフェースカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応

USB 2.0 High-Speed 対応ケーブル

型番	長さ	備考
CB- USB2AB- 005	0.5m	シリーズ A - シリーズ B
CB- USB2AB- 010	1.0m	シリーズ A - シリーズ B